

事業者向け放課後等デイサービス自己評価結果

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|---|---|----|---------------|-----|----------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等との関係で適切であるか | ○ | | | 学習室、プレイルーム等、分けている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | | ○ | | 積極的な参画は十分ではない。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか | ○ | | | 毎年実施している。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 毎年ホームページに掲載している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 予算的にも難しいが、必要であれば検討する。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | ○ | | 外部研修への参加は人間的にも時間的にも難しい。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 指導プログラムを作成し、毎月末に評価を行っている。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | | ○ | 発達の検査等、標準化されたツールはない。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | ○ | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 児童が飽きないように工夫している。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか | ○ | | | 休日は時間があるので、集団でできることに重きを置き支援している。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|-----------------------------------|
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 必要に応じて個別対応を実施し、集団に参加できるように作成している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | ○ | | 時間によってはできない日もある。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | 記録を記入しながら、気付いたことは共有している。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 毎日記録をつけ、保護者と共有し、毎月ごとに全体的な評価をしている。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 計画は6カ月毎、モニタリングは毎月の全体評価にて行っている。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | ○ | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児童発達管理責任者が主に参画し、必要に応じて他職員も加わる。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | | ○ | | 主に保護者からの情報を共有している。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 受け入れはしていない。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | 主に、保護者からの情報を受けており、事業所との共有はない。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | 依頼を受けたことがない。 |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|--|---|---------------------------------|
| | ②⑤ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | |
| | ②⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 実施していない。 |
| | ②⑦ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | 実施していない。 |
| | ②⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 毎日の連絡帳、送迎時の引継ぎ等、必要に応じての個別面談を実施。 |
| | ②⑨ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 希望があれば、相談にのる。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に行っている |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 希望があれば、個別に対応。 |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 年に1回、実施している。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 苦情相談窓口を設置し、対応している。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 毎月、会報を発行している。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 留意している。 |
| | ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 必要に応じて対応。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|-------------------------------------|
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 実施していない。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 敷地内施設の訓練に参加。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | |
| | ④① | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | 契約時に保護者への説明はしているが、サービス計画への記載はしていない。 |
| | ④② | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | ○ | 保護者からの依頼により対応。 |
| | ④③ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | ヒヤリハットとして、報告があった場合、会議で取り上げ共有している。 |